

2022年7月27日

各位

会社名 株式会社新生銀行
代表者名 代表取締役社長 川島 克哉
(コード番号 : 8303 東証スタンダード市場)

株式会社ユニラボに対するベンチャーデット(新株予約権付融資)の実行について

当行は、このたび、株式会社ユニラボ(本社:東京都品川区、代表取締役 CEO:栗山規夫、以下「ユニラボ」)に対し、2022年7月27日付けで新株予約権付融資を実行しましたので、お知らせいたします。

本件は、中期経営計画「新生銀行グループの中期ビジョン」の法人ビジネス個別戦略に掲げる「ベンチャーデット(*1)の提供」に合致した取り組みで、当行グループにおいて累計10社目の新株予約権付ローンの実行となります。また、当社に対してはSBIグループのベンチャーキャピタルであるSBIインベストメントが2020年11月にエクイティ出資を行っており、本件は、ベンチャー企業のエクイティ・デット両面の資金支援を、SBIグループ一体で実現した第一号案件となります。(*1)ベンチャーデットとは、成長が期待されるベンチャー企業向けのエクイティとデット双方の特徴を持った融資であり、新株予約権付融資や転換社債などの形で行われます。ベンチャー企業にとってエクイティよりも株式の希薄化を抑えた資金調達となり、資本政策上のメリットを享受することができます。

ユニラボは「受発注を変革するインフラを創る」というビジョンを掲げ、受発注領域に特化したDX支援、企業経営の生産性改善に貢献しています。ユニラボが提供する、BtoB受発注プラットフォーム「アイミツ」および「アイミツ CLOUD」は、全国の発注先、外注先、アウトソーシング企業の特徴や実績、サービスの情報をまとめた日本最大級の発注先企業の検索サービスであり、発注企業に対しては意思決定支援、受注企業に対しては集客支援を通し、受発注の最適化を実現しています。

当行は、マーケットプレース版の「アイミツ」を進化させ、役務サービスの購買のDX化クラウドサービス「アイミツ CLOUD」のポテンシャルを高く評価し、本件融資を実行したものです。成長資金の提供に加え、当行のお取引先に対して「アイミツ CLOUD」をお繋ぎすることにより、ユニラボのビジネス拡大支援とともに、企業のDX化に貢献して参ります。また金融面からも、グループの機能を活用した決済分野でのサポート支援についても可能性を探っていきます。

新生銀行グループでは、中期経営計画「新生銀行グループの中期ビジョン」の法人ビジネス戦略において、「顧客中心主義の徹底による顧客基盤の拡大」「SBIグループとの連携によるフルラインナップの商品提供」を掲げております。事業法人向けでは、特にベンチャー企業・オーナー顧客の基盤拡大を目指しており、従来からのベンチャー投資に加え、今般のようなベンチャーデットに積極的に取り組むほか、SBIグループの顧客基盤や機能を活用することにより、ベンチャー企業・市場の成長に資するエコシステムの構築をリードしてまいります。

■ 株式会社ユニラボ の概要

設立日 : 2012年10月
代表者 : 代表取締役 CEO 栗山 規夫
本社所在地 : 東京都品川区東五反田三丁目20番14号 住友不動産高輪パークタワー12F
事業内容 : BtoB受発注プラットフォームの運営
Webサイト : <https://www.unilabo.jp>
アイミツ CLOUD : <https://imitsu-cloud.jp/>

以上

お問い合わせ先
新生銀行 グループIR・広報部
報道機関のみなさま: Shinsei_PR@shinseibank.com
株主・投資家のみなさま: Shinsei_IR@shinseibank.com